

感染状況・医療提供体制の分析(12月1日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (11月24日時点)	現在の数値 (12月1日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	29人 (1.5人)	20人 (1.1人)	→	総括コメント レベル2. 感染縮小しつつあるが注意が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	6人 (21%)	4人 (20%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	23人	18人	→	新規陽性者は <u>人口10万人当たり1.1人</u> と減少。接触歴不明者も比較的低い割合で推移。しかし、感染伝播は継続。年末に向け屋内での活動やイベントが増加し、感染者数増加が懸念。また、オミクロン株にも注意が必要。ワクチン2回接種完了者は県内で75%に達し、3回目接種も始まるが、未接種者のワクチン接種推進や接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持することが重要である。
		県南西部	4人	1人	→	
		高梁・新見	0人	0人	→	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在・感染	③新規陽性者における接触歴不明者	数	5人	3人	
割合 (③/①)			17%	15%	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	23人 (4%)	6人 (1%)	→	総括コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる	
	⑤宿泊療養者数	15人	4人	→	入院患者数、宿泊・自宅療養者数とも減少傾向。通常医療は引き続き安定的に維持・提供できている。	
	⑥自宅療養者数	24人	17人	→		
	⑦重症者数	1人	1人	→		